

国立自然園鑑

国立市立国立第七小学校 平成26年7月1日 NO.44



オカトラノオ (サクラソウ科)

この花は小さな花があつまってさいています。よく見るとなにかのおっぽのように見えませんか。どうぶつのトラのおっぽににているようなので、トラノオという名前がつけました。

あちこちの野原にふつうにさいています。やや日当たりのよい所がすきなようです。梅雨空のもと、この花が咲いていると、涼(すず)しさを感じさせてくれるようです。白い花がうかびあがるように咲いている姿もいいですね。

この花は、一番てっぺんが一番開いているようです。これは、花に集まる虫と関係しているようです。たぶんてっぺんの花ほど蜜をたくさん出すのでしょうか。尾っぽの向きには規則性があるようです。どちらを向けているのでしょうか。場所によってちがうのでしょうか。いろいろ調べると楽しいでしょう。

☆たくさんの方が開いていますが、一番てっぺんが一番開いているように見えませんか。これは、花に集まる虫と関係しているようです。たぶんてっぺんにさく花が一番みつがあるのでしょう。

☆この花は、どちらに尾っぽを向けているのでしょうか。場所によってちがうのでしょうか。 東西南北のどちらに尾っぽを向けるか、いろいろと調べてみるのも楽しいでしょう。